

平成 30 度 県立北山高等学校学校評価(自己評価・学校関係者評価)様式

1 学校の教育目標
□日本国憲法及び教育基本法に則り、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康な人間を育成する。 (1)自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し行動できる人間の育成を図る。(2)豊かな人間性や社会性を身につけ変化の著しい社会に対応できる人間の育成を図る。 (3)人権を尊重し、自他の生命を尊び、相互扶助の精神を備えた人間の育成を図る。(4)郷土の歴史や文化に誇りを持ち、地域を愛し国際協調の精神を大切にできる人間の育成を図る。
2 本年度の重点目標
(1) 入学定員の確保 (2) 学校運営組織の活性化 (3) 説明責任の遂行と学校改革 (4) 教育環境の整備 (5) 学校事務の適切な管理 (6) 保護者、地域、関係団体との密接な連携 (7) 勤務時間を意識した働き方を推進し、多忙化の解消に努める。
3 前年度の成果と課題
成果：(1) 国公立大学 10 名、進路決定率 90.8% (2) 北山高校創立 70 周年記念事業期成会に同窓生、地域関係者、保護者、生徒、職員が取り組んだ。 課題：(1) 理数科の定員確保、進学率の向上 (2) 学力向上対策の充実

評価 A 達成できた B ほぼ達成 C あまり達成できない D 達成できない

4 評価 項目	具体的目標	具体的方策	自己評価			平成 30 年度の 課題	平成 31 年度への 改善点	学校 関係 者 評価	学校関係者 からの要望
			1 学期	2 学期	年 間				
教育 目標	①教育活動全体の活性化	①校訓「自主・自律」「友愛・協同」の精神を育む ②豊かな人間性、健全な生徒の育成 ③学校行事・生徒会活動の活性化			B A B	・普通科の読書活動の 推進	・普通科生徒の読書活動 の推進に HR、授業でも 取り組む	A A A	学寮増、生徒増 による教育活動 活性化を要望
教科 指導	①学習活動の計画的実施 ②授業力の向上 ③学習評価の適正化 ④家庭学習の習慣化	①シラバスによる授業実践 ②実態に応じた授業の工夫・改善 ③定期考査・提出物・授業態度等による適正評価 ④日々課題・週末課題によるサポート			B A A B	・互見授業の活性化 ・家庭学習の習慣化が できていない	・各教科内での互見授 業、授業研究会を活性 化させる	B B B C	家庭学習の提出 物の状況を可視 化してはどうか
生徒 指導	①基本的生活習慣の確立 ②問題行動の未然防止 ③いじめの未然防止 ④身なり・マナー指導の充実 ⑤自治活動の充実	①挨拶運動、遅刻・欠課・欠席指導の教科 ②集会及び講演・訓話を通じた啓発活動 ③いじめアンケート等によるいじめの未然防止の取組 ④その場指導の徹底 ⑤生徒会・委員会活動の活発化			B B A C B	・基本的生活習慣の徹 底  ・段階的指導の徹底	・保護者との連携強化  ・その場指導の徹底	A A B A A	特になし
進路 指導	①進路情報発信 ②進路目標の早期決定 ③模試・各種検定の充実 ④各種講座の充実	①進路便りの発行や進路研究会の開催 ②総合的学習の時間の利用や三者面談の有効利用 ③模擬試験・各種検定受検サポートと事前事後指導 ④早朝講座、夏休み講座、個別指導の実施			C B C B	・進路決定率が前年度 より低い ・総合的な探求の時間 の取り組み	・探求的な活動等の取り 組みを生徒主体で行う ・生徒参加のシンポジウ ム討論会の企画実施	B B B B	医学部に進学す る生徒が出て欲し い
部活動・ PTA 地域 活動等	①部活動の活性化 ②学校施設・設備の充実 ③PTA活動の充実	①顧問・家庭の連携による部活動の活性化 ②学校施設・設備の点検及び整備・充実 ③PTA及び各種委員会の積極的取組			C B B	・部活動加入率の向上 ・施設、設備の点検 ・PTA参加率の向上	・女子の部加入率向上 ・施設・設備充実 ・PTA 総会参加者増加	B B C	文武両道を目指 して欲しい